

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第3回高松市教育振興基本計画中間見直しに係る検討懇談会
開 催 日 時	令和2年2月5日（水）14時00分～14時42分
開 催 場 所	高松市役所10階 教育委員室
議 題	(1) 第2期高松市教育振興基本計画案（令和2年度改定版）について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	青木委員、岩井委員、喜多委員、清國委員、澤田委員、永見委員、長谷川委員
傍 聴 者	0人（定員5人）
担 当 課 及 び 連 絡 先	教育局総務課（839-2611）

会議の経過及び結果

会議を開会し、次の議題について協議した。

(1) 第2期高松市教育振興基本計画案（令和2年度改定版）について

事務局から説明

【質問及び意見】

(委員)

資料①の11ページ、施策内容の3つ目に「医療機関などの関係機関と連携して最新の情報を提供するなど、学校で情報モラルの指導や保護者への助言が適切に実施できるよう」とあるが、イメージとして「医療機関など」の言葉が入るとゲーム依存に重点を置いており、敢えてその言葉が入っていると捉えた。「情報モラル」の言葉の意味の中に「ゲーム依存」も入るため、情報モラルの指導としているのか。

(事務局)

「医療機関など」の言葉が入っているのは、最近、社会問題となっているゲーム依存の問題もあるためである。情報モラル教育の中に、ネット・ゲーム依存は入るが、従来、本市教育委員会が情報モラル出前授業で実施してきた取組は、主にネットトラブル、犯罪被害防止である。本年度から内容として新たに、ネット・ゲーム依存対策を加え、医療機関だけではなく警察等の関係機関からも情報を提供していただき、ネット・ゲーム依存を含む情報モラル教育の充実に努めている。

(委員)

具体的な施策の展開で「(3) 情報モラル教育とネット・ゲーム依存対策の推進」と並列で掲げられており、同列の扱いだと思う。

(会長)

幼児教育が大切であるところが示されており、パブリックコメントなどの御指摘にもあったが、体を使った外遊びのことなどを入れたことは、今の教育の流れの中で適切だと思う。

(委員)

資料①の 8 ページ、施策内容の 1 つ目に「十分な運動量を確保した体育の授業の改善」とあるが、生涯スポーツや意欲の向上を目指すための手段が「十分な運動量を確保する」ことで解決するようなニュアンスに受け取れる。もちろん「十分な運動量を確保する」ことは大切であるが、体育の授業で「十分な運動量を確保する」だけでスポーツの習慣や意欲の向上につながるかは少し違う。体育の授業は、「する・みる・支える・知る」といった学習指導要領があり、体力の向上を図るための実践力を培うことが目標にあるのではないか。

(事務局)

体育の授業改善については具体的に示していなかったため、「みること」、「知ること」などだけでなく、運動量を確保することも大切であるためこのような表現であるが、御指摘も踏まえ表現については調整したい。

(委員)

資料①の 8 ページ、対応方針の 3 つ目に「運動部活動での、外部指導者や顧問として生徒を指導・引率する部活動指導員の活用」とあるが、部活動指導員のみで引率できない大会もあったと思うがいかがか。

(事務局)

部活動指導員だけが部活動顧問になるのではなく、もう一人、教諭を部活動顧問として置いている。また、部活動指導員と担当教諭を配置することもあり、部活動指導員だけに任せることがないように高松市部活動指導員配置事業実施要綱にも規定している。

部活動指導員の制度化の際、国の通知でも「引率」と明記されている。

(副会長)

資料①の 8 ページ、施策内容の 1 つ目に「積極的にスポーツに親しむ習慣」とあるが、他では「スポーツ」の言葉は使っていない。この計画では「運動」という表現にしている。用語の問題であり、検討していただきたい。また、「子どもが生涯にわたって積極的にスポーツに親しむ習慣、意欲の向上を目指し」とあるが、表現としていかなものか検討していただきたい。

(事務局)

表現については調整させていただく。

(会長)

本懇談会に関わった感想や、本市の今後の教育がよりよいものになっていくよう発言をいただきたい。

(委員)

計画とは離れるが、学校から子どもたちが帰ってきてても外で遊べる場所があまりない。「子どもが遊べる場所づくり」が大切である。学校の体育の授業だけでは、体を鍛えたり楽しむことはむずかしいだろう。

(会長)

市行政全体として連携をしながら、遊びの中で体力を向上させることも大切である。

(委員)

先日開催された「新春子どもフェスティバル2020」に参加した。合併町の参加が少ないように感じた。市子ども会育成連絡協議会と関係機関との連携をもう少し緊密にできればよい。

(委員)

パブリックコメントの実施結果を見て、市民の方は丁寧に見ていただいているのだと感じた。表現も細かく修正をしているが、この計画が指針となるのか。

(事務局)

本計画は教育分野における上位計画である。本市の教育の目指すべき方向やその方法などを記載したものになる。

(副会長)

資料②の54ページ、施策の目標において「芸術士派遣年間施設数（幼稚園・こども園）」の令和5年度目標値が平成30年度末数値を下回っているのはなぜか。

(事務局)

各園から要望をいただいているが予算の関係でこのようになっている。

(副会長)

休日に亀岡公園に行く機会があるが、子どもが遊んでいる風景を見ることがある。先ほどの御意見にもあったが、「安全に遊ぶ場」があればよい。公園には安全面から多くの規制があるため遊びにくく、むずかしいところもある。

(2) その他

事務局から今後のスケジュールについて説明

(閉会)